# 経営比較分析表（令和5年度決算）

群馬県　大泉町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|---|---|---|---|---|
| 法適用 | 下水道事業 | 公共下水道 | Cc2 | 非設置 |
| **資金不足比率(%)** | **自己資本構成比率(%)** | **普及率(%)** | **有収率(%)** | **1か月20m³当たり家庭料金(円)** |
| - | 72.63 | 29.21 | 88.09 | 2,376 |

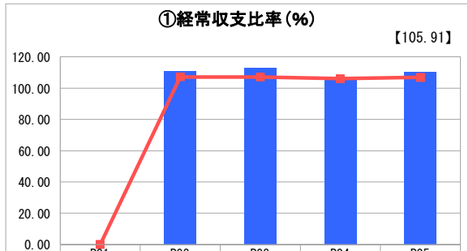
| 人口（人） | 面積(km²) | 人口密度(人/km²) |
|---|---|---|
| 41,465 | 18.03 | 2,299.78 |
| **処理区域内人口(人)** | **処理区域面積(km²)** | **処理区域内人口密度(人/km²)** |
| 12,100 | 2.97 | 4,074.07 |

**グラフ凡例**
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性

### ①経常収支比率(%)

【105.91】



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 110.80 | 112.71 | 106.67 | 110.37 |
| 平均値 | - | 107.21 | 107.08 | 106.08 | 106.87 |

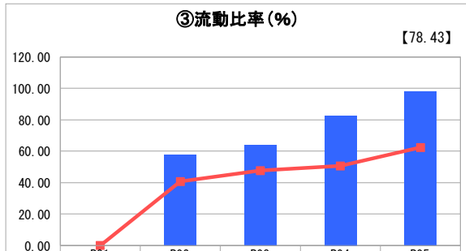
### ②累積欠損金比率(%)

【3.03】

| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 平均値 | - | 43.71 | 45.94 | 29.34 | 21.73 |

### ③流動比率(%)

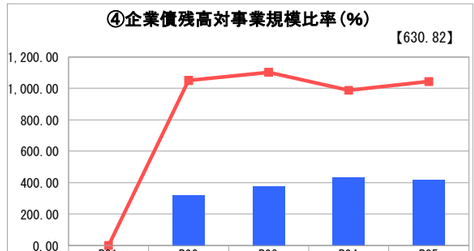
【78.43】



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 57.61 | 63.85 | 82.56 | 97.90 |
| 平均値 | - | 40.67 | 47.70 | 50.59 | 62.37 |

### ④企業債残高対事業規模比率(%)

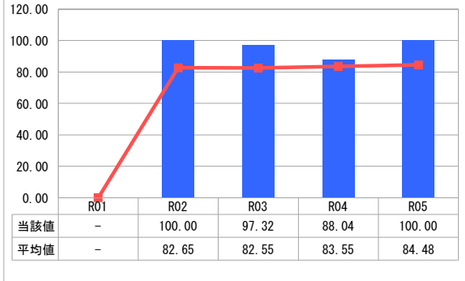
【630.82】



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 320.23 | 377.14 | 431.62 | 417.18 |
| 平均値 | - | 1,050.51 | 1,102.01 | 987.36 | 1,042.77 |

### ⑤経費回収率(%)

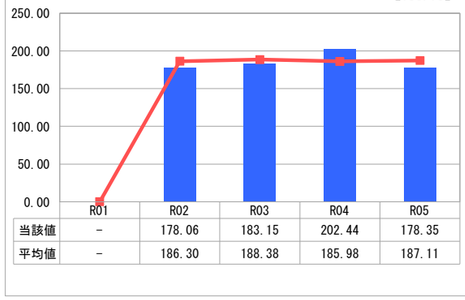
【97.81】



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 100.00 | 97.32 | 88.04 | 100.00 |
| 平均値 | - | 82.65 | 82.55 | 83.55 | 84.48 |

### ⑥汚水処理原価(円)

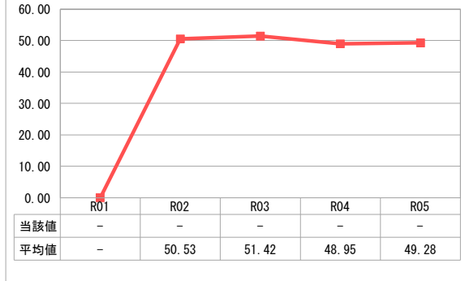
【138.75】



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 178.06 | 183.15 | 202.44 | 178.35 |
| 平均値 | - | 186.30 | 188.38 | 185.98 | 187.11 |

### ⑦施設利用率(%)

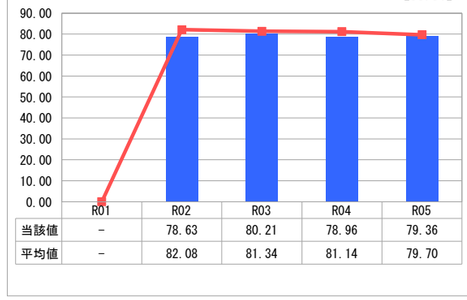
【58.94】



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | - | - | - | - |
| 平均値 | - | 50.53 | 51.42 | 48.95 | 49.28 |

### ⑧水洗化率(%)

【95.91】

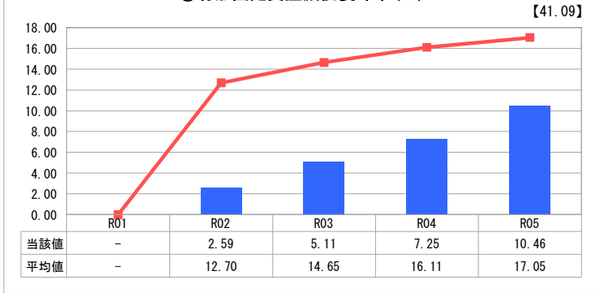


| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 78.63 | 80.21 | 78.96 | 79.36 |
| 平均値 | - | 82.08 | 81.34 | 81.14 | 79.70 |

## 2. 老朽化の状況

### ①有形固定資産減価償却率(%)

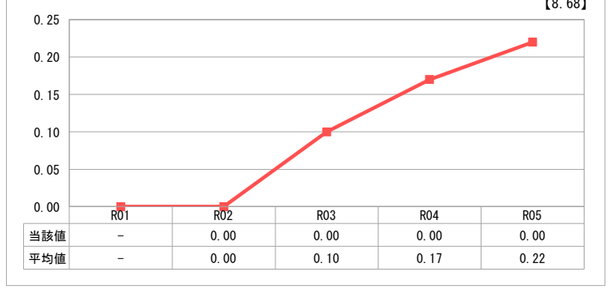
【41.09】



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 2.59 | 5.11 | 7.25 | 10.46 |
| 平均値 | - | 12.70 | 14.65 | 16.11 | 17.05 |

### ②管渠老朽化率(%)

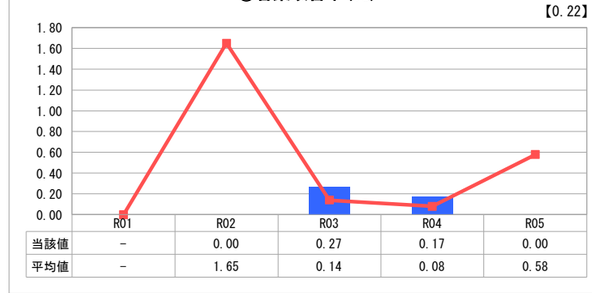
【8.68】



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 平均値 | - | 0.00 | 0.10 | 0.17 | 0.22 |

### ③管渠改善率(%)

【0.22】



| | R01 | R02 | R03 | R04 | R05 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | - | 0.00 | 0.27 | 0.17 | 0.00 |
| 平均値 | - | 1.65 | 0.14 | 0.08 | 0.58 |

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経営の健全性を示す経常収支比率は、前年度比3.7ポイント増の110.37%となったが、総収益に占める一般会計繰入金の割合が約4割となっており、依然として繰入金への依存度が高い状況にある。

②累積欠損金は発生していない。

③短期的な支払い能力を示す流動比率は、前年度比15.34ポイント増の97.90%となり、類似団体と比較して高い水準にあるが、100%を下回っているため、支払能力を高めるための経営の改善を図っていく必要がある。

④企業債残高対事業規模比率は、企業債の現在高が減少したことにより前年度より比率が減少し、類似団体平均や全国平均を下回っている。

⑤使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比11.96ポイント増の100.00%に回復しており、使用料水準は概ね妥当といえる。

⑥汚水処理に係るコストを示す汚水処理原価は、前年度に比べ24.09円減少し、類似団体平均を下回ったが、接続率の向上による有収水量の増加を図るとともに、コストの削減に努めていく。

⑦本町の下水道は最終的に流域下水道（県の施設）に接続しており、下水の処理は流域下水道の処理場で行っているため、施設利用率はない。

⑧水洗化率は、前年度比0.40ポイント増の79.36%となったが、類似団体平均をやや下回っており、接続促進活動の強化や効率的な整備などを図っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

①資産の老朽化度合を示す有形固定資産減価償却率は、整備開始からの年数が30年程度と浅く法定耐用年数に近い資産が少ないため、類似団体と比較して低い数値となっているが、将来の更新に備えて財源の確保に努める必要がある。

②管渠の老朽化度合を示す管渠老朽化率は、法定耐用年数を経過した管渠がないため0%となっている。
　しかしながら、事業着手当初に敷設した管渠については約30年が経過しており、管渠の点検・補修など予防保全を計画的に進めていく必要がある。

③管路調査に基づきひび割れ等が見られた管渠について、改良工事として管更生工事（198m）を実施した。ストックマネジメント計画策定の検討を進め、今後も財源確保に努め、計画的に工事を進めていく。

### 全体総括

　経常収支比率は100%を超え黒字経営であり、経費回収率が100%に回復するなど、各指標を類似団体と比較すると、経営状況は概ね良好であり健全経営であると言える。
　本町の公共下水道事業は未普及解消段階にあり、整備面積拡大とともに接続戸数・使用料収入とも増加していたが、近年は節水機器の普及による節水傾向もあって使用料収入が伸び悩んでおり、一般会計繰入金への依存度が依然として高いなど、厳しい経営状況にある。
　令和6年度に改定する経営戦略により、使用料体系の見直しを含め今後の人口減少も見据えた料金改定の必要性の検証を行うとともに、効率的な面整備の拡大や接続促進により有収水量及び使用料収入の安定的な確保に努め、計画的かつ効率的な更新・維持管理を行っていく。